

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 株式会社堀場製作所
 コード番号 6856 URL <http://www.horiba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 堀場 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐藤 文俊
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け電話会議)

上場取引所 東大

TEL 075-313-8121

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	82,844	△5.5	7,056	△27.3	6,676	△29.0	4,076	△30.8
23年12月期第3四半期	87,646	6.0	9,706	24.9	9,410	21.5	5,893	17.7

(注)包括利益 24年12月期第3四半期 4,046百万円 (△6.1%) 23年12月期第3四半期 4,309百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	96.38	96.11
23年12月期第3四半期	139.36	139.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	141,543	92,622	65.2
23年12月期	144,649	90,460	62.4

(参考)自己資本 24年12月期第3四半期 92,337百万円 23年12月期 90,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	9.00	—	31.00	40.00
24年12月期	—	15.00	—		
24年12月期(予想)				31.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成25年1月26日に創立60周年を迎えるため、平成24年12月末の株主様に対して、1株当たり10円の記念配当を実施する予定です。このため、平成24年12月期の期末配当金は、普通配当21円、記念配当10円の合計31円の予想としています。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	△5.2	11,000	△26.2	10,500	△28.1	6,600	△23.8	156.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	42,532,752 株	23年12月期	42,532,752 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	235,583 株	23年12月期	238,083 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	42,297,142 株	23年12月期3Q	42,293,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(5) セグメント情報等	11
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(詳細は、13～15ページ「平成24年12月期 第3四半期決算概要」をご参照ください。)

当第3四半期連結累計期間における我が国経済をみますと、復興需要等を背景に前半は緩やかに回復しましたが、円高持続や世界経済の減速などを背景に夏以降弱めの動きとなりました。一方、世界経済については、欧州債務問題の影響の広がりから欧米を中心に減速感が強まっており、高成長を続けてきた中国やインドについても成長が鈍化しました。

この間、為替相場をみますと、平成24年1月から9月の平均為替レートは1米ドル79.39円、1ユーロは101.72円と円高水準が続いており、前年同期に比べても、米ドルは1.5%、ユーロは11.5%のそれぞれ円高になりました。

このような状況のもと、当社グループでは、自動車産業の設備投資や研究開発投資の回復により自動車計測システム機器部門の販売が増加しました。一方、シリコン半導体や太陽電池、LED（発光ダイオード）メーカーの設備投資減少により半導体システム機器部門の販売が大幅に減少したほか、円高などにより医用システム機器部門や科学システム機器部門において海外売上高が減少しました。この結果、売上高は82,844百万円と前年同期比5.5%の減収となりました。

利益面では、自動車計測システム機器部門において増益となりましたが、半導体システム機器部門では販売減により大幅減益となりました。環境・プロセスシステム機器部門では製品構成の変化により、また医用システム機器部門と科学システム機器部門でも、円高による収益性の悪化などから、減益となりました。その結果、営業利益は7,056百万円と同27.3%の減益、経常利益は6,676百万円と同29.0%の減益、四半期純利益は4,076百万円と同30.8%の減益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(自動車計測システム機器部門)

売上高は、円高により円換算で目減りしたものの、各国自動車産業の設備投資や研究開発投資の回復により販売は堅調に推移し、27,919百万円と前年同期比15.1%の増収となりました。利益面では、円高による海外向け案件の収益性の低下や、運行管理システムの新製品開発費用の増加による一時的な収益性の悪化などはあるものの、主力のエンジン排ガス測定装置の販売増により、営業利益は1,465百万円と同56.4%の増益となりました。

(環境・プロセスシステム機器部門)

火力発電所向けの煙道排ガス分析装置などが日本国内を中心に堅調に推移し、売上高は10,113百万円と前年同期比0.4%の増収となりましたが、東日本大震災後に需要が拡大した環境放射線測定器の販売が第2四半期以降に減少し、製品構成が変化したことなどにより、営業利益は1,244百万円と同15.5%の減益となりました。

(医用システム機器部門)

アジアでの血球計数装置の販売は底堅く推移したものの、欧米における経済環境悪化に加え、ユーロ安による売上高の目減りなどから、欧米での販売が減少しました。この結果、売上高は16,492百万円と前年同期比7.0%の減収、営業利益は1,976百万円と同20.9%の減益となりました。

(半導体システム機器部門)

当第3四半期において半導体やLEDの製造装置メーカーの生産高が大幅に減少したことを背景に、マスフローコントローラーや薬液濃度モニターなど主力製品の販売が大幅に減少しました。この結果、売上高は14,030百万円と前年同期比30.0%の減収、営業利益は2,080百万円と前年同期比50.8%の大幅減益となりました。

(科学システム機器部門)

国内においてpHメーターの新製品などの販売は底堅く推移しましたが、海外では為替の円高推移により売上高が目減りしたことに加え、欧米での政府予算削減の影響を受け販売が減少しました。この結果、売上高は14,287百万円と前年同期比8.0%の減収、営業利益は289百万円と前年同期比49.0%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ3,106百万円減少し、141,543百万円となりました。現金及び預金が4,968百万円、仕掛品が2,222百万円、建物及び構築物が997百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が9,661百万円、有価証券が3,276百万円それぞれ減少したことなどによります。

負債総額は前連結会計年度末に比べ5,268百万円減少し、48,920百万円となりました。賞与引当金が542百万円、流動負債のその他が509百万円それぞれ増加したものの、支払手形及び買掛金が2,286百万円、未払法人税等が1,965百万円、短期借入金が1,513百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,162百万円増加し、92,622百万円となりました。利益剰余金が2,127百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の収益動向を勘案し、平成24年12月期通期連結業績および配当予想を、以下のとおり修正いたします。

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (8月6日時点)	今回予想 (11月6日時点)	差額
売上高	120,000	117,000	△3,000
営業利益	12,000	11,000	△1,000
経常利益	11,300	10,500	△800
当期純利益	7,000	6,600	△400

セグメント別通期連結業績予想

売上高

(単位：百万円)

	前回予想 (8月6日 時点)	今回予想 (11月6日 時点)	差額
自動車	43,000	43,000	—
環境	13,500	13,500	—
医用	22,500	22,500	—
半導体	20,500	18,000	△2,500
科学	20,500	20,000	△500
合計	120,000	117,000	△3,000

営業利益

(単位：百万円)

	前回予想 (8月6日 時点)	今回予想 (11月6日 時点)	差額
自動車	2,700	3,200	500
環境	1,700	1,500	△200
医用	3,000	3,000	—
半導体	3,300	2,500	△800
科学	1,300	800	△500
合計	12,000	11,000	△1,000

通期の連結業績予想につきましては、国内外の需要動向を勘案し、自動車計測システム機器部門において営業利益を上方修正いたしました。一方、半導体システム機器部門においては、半導体やLEDの製造装置メーカーでの生産調整の影響を勘案し、売上高、営業利益ともに下方修正いたしました。環境・プロセスシステム機器部門においては、環境放射線測定器の需要が減少傾向にあることなどから、営業利益を下方修正しました。科学システム機器部門においては、国内での販売減が見込まれるため、売上高、営業利益ともに下方修正いたしました。医用システム機器部門については前回予想を据え置きました。

その結果、売上高を3,000百万円、営業利益を1,000百万円下方修正いたしました。営業減益により、経常利益を800百万円、当期純利益を400百万円、それぞれ下方修正いたしました。

配当予想の修正

① 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成24年2月14日時点)	—	28	43
今回修正予想	—	31	46
当期実績	15	—	—
前期実績 (平成23年12月期)	9	31	40

② 修正の理由

当社では、安定的な経営基盤の確保及び事業展開のための内部留保を勘案しながら、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つとして捉え、個別当期純利益の30%を配当原資とする基準配当性向主義に基づく配当を実施することを基本方針としております。

当期の配当予想につきまして、平成24年2月14日発表の「平成23年12月期決算短信」以降、年間配当金予想を43円（中間配当金15円、期末配当金28円）としておりましたが、当期の個別業績見通しを勘案した結果、期末配当金予想につきましては1株につき3円増額して31円とし、年間配当金予想を46円（中間配当金15円、期末配当金31円〔うち、創立60周年記念配当10円〕）と修正いたします。

(参考)

通期個別業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (8月6日時点)	今回予想 (11月6日時点)	差額
売上高	53,500	53,500	—
営業利益	4,200	4,500	300
経常利益	6,200	6,600	400
当期純利益	4,500	4,900	400

通期の個別業績予想につきましては、半導体システム機器部門において、半導体製造装置メーカーの生産調整の影響による販売減が見込まれるものの、自動車計測システム機器部門においては、期末に向けて販売が増加する見通しです。これらを勘案した結果、売上高については前回予想を据え置くものの、営業利益については300百万円上方修正いたしました。経常利益や当期純利益については、営業外損益戻の改善が見込めることも加えて、ともに400百万円上方修正いたしました。

※業績予想につきましては平成24年11月6日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

事業に関するリスク

為替相場の変動を含む国際的活動に伴う諸リスク、買収や提携に伴う業績や財政状態の変化リスク、自然災害による設備の破損とそれに伴う納期遅延等リスク、契約や取引に関するリスク、各種法規制等

開発・製造に関するリスク

製造物責任によるリスク、新製品開発の遅延リスク、知的財産権に関するリスク、原材料調達のリスク（量の確保、価格変動）

財務に関するリスク

保有有価証券やその他資産の時価の変動、制度変更や会計上の方針変更に伴う繰延税金資産の取り崩しなどの発生

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社3社の建物以外の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更は、主に次の2つの理由により当社グループの会計処理の統一と期間損益の適正化を図るために実施したものであります。①平成23年を起点とする中長期経営計画において、グローバル経営をさらに深化させるため、“One Company 経営”の発展と完成を重点施策として挙げており、その中で海外連結子会社を含めた統一的な業績評価システムが必要となっていること、②当社における有形固定資産の使用実態に関する調査結果及び中長期経営計画で予定されている今後の事業展開を鑑み、定額法を採用したほうが使用実態とより整合した費用配分を行えるものと判断したこと。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ360百万円増加しております。

(有形固定資産の残存価額に対する見積りの変更)

当社及び国内連結子会社3社は、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機として、有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき備忘価額（1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ205百万円減少しております。

(表示方法の変更)

従来、当社及び一部の連結子会社は運賃及び発送諸費について販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上原価として表示する方法に変更いたしました。

この変更は、主に次の2つの理由により実施したものであります。①平成23年を起点とする中長期経営計画において、グローバル経営をさらに深化させるため、“One Company 経営”の発展と完成を重点施策として挙げており、その中で海外連結子会社を含めた統一的な業績評価システムが必要となっていること、②グローバル化による国際輸送の増加及び燃料コストの増加により、コストに占める運賃及び発送諸費の比率が増加しており、運賃及び発送諸費を売上原価に含め売上高に直接的に対応させる方が、売上総利益をより適正に表示することになると判断したこと。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」及び「販売費及び一般管理費」として表示されていた金額はそれぞれ47,879百万円、30,060百万円でしたが、当該変更により、「売上原価」49,620百万円、「販売費及び一般管理費」28,319百万円として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,893	33,861
受取手形及び売掛金	39,375	29,713
有価証券	8,350	5,074
商品及び製品	9,015	9,389
仕掛品	9,127	11,350
原材料及び貯蔵品	8,144	8,164
繰延税金資産	3,201	3,220
その他	2,896	2,849
貸倒引当金	△750	△680
流動資産合計	108,255	102,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,156	9,154
機械装置及び運搬具（純額）	2,945	2,771
土地	7,362	7,812
建設仮勘定	2,130	2,819
その他（純額）	2,328	2,750
有形固定資産合計	22,924	25,308
無形固定資産		
のれん	201	347
ソフトウェア	4,182	3,695
その他	256	472
無形固定資産合計	4,640	4,515
投資その他の資産		
投資有価証券	3,514	3,526
繰延税金資産	2,115	2,194
その他	3,240	3,134
貸倒引当金	△40	△79
投資その他の資産合計	8,829	8,775
固定資産合計	36,394	38,599
資産合計	144,649	141,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,196	10,910
短期借入金	6,684	5,171
未払金	7,805	7,530
未払法人税等	2,459	494
繰延税金負債	18	5
賞与引当金	755	1,298
役員賞与引当金	84	307
製品保証引当金	1,308	1,240
事業構造改善引当金	174	15
その他	6,085	6,594
流動負債合計	38,574	33,568
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	1,291	1,070
繰延税金負債	108	133
退職給付引当金	1,775	1,944
役員退職慰労引当金	221	189
損害補償損失引当金	616	496
その他	1,600	1,516
固定負債合計	15,615	15,351
負債合計	54,189	48,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,011	12,011
資本剰余金	18,717	18,717
利益剰余金	66,278	68,405
自己株式	△788	△780
株主資本合計	96,219	98,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717	680
為替換算調整勘定	△6,703	△6,697
その他の包括利益累計額合計	△5,986	△6,017
新株予約権	186	245
少数株主持分	40	39
純資産合計	90,460	92,622
負債純資産合計	144,649	141,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	87,646	82,844
売上原価	49,620	48,087
売上総利益	38,025	34,756
販売費及び一般管理費	28,319	27,700
営業利益	9,706	7,056
営業外収益		
受取利息	81	117
受取配当金	50	49
雑収入	278	203
営業外収益合計	409	370
営業外費用		
支払利息	377	346
為替差損	298	236
雑損失	29	168
営業外費用合計	705	750
経常利益	9,410	6,676
特別利益		
固定資産売却益	6	24
債務保証損失引当金戻入額	67	—
損害補償損失引当金戻入額	—	44
その他	1	—
特別利益合計	74	69
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	18	22
減損損失	85	82
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	110	2
事業構造改善引当金繰入額	281	—
その他	2	—
特別損失合計	503	107
税金等調整前四半期純利益	8,980	6,638
法人税、住民税及び事業税	3,632	2,672
法人税等調整額	△544	△111
法人税等合計	3,087	2,560
少数株主損益調整前四半期純利益	5,892	4,077
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	0
四半期純利益	5,893	4,076

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,892	4,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△368	△36
為替換算調整勘定	△1,214	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,583	△30
四半期包括利益	4,309	4,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,310	4,045
少数株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車計測 システム 機器	環境・ プロセス システム機器	医用 システム 機器	半導体 システム 機器	科学 システム 機器		
売上高							
外部顧客への売上 高	24,246	10,075	17,741	20,045	15,538	—	87,646
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,246	10,075	17,741	20,045	15,538	—	87,646
セグメント利益	937	1,473	2,499	4,227	568	—	9,706

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車計測 システム 機器	環境・ プロセス システム機器	医用 システム 機器	半導体 システム 機器	科学 システム 機器		
売上高							
外部顧客への売上 高	27,919	10,113	16,492	14,030	14,287	—	82,844
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,919	10,113	16,492	14,030	14,287	—	82,844
セグメント利益	1,465	1,244	1,976	2,080	289	—	7,056

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社3社の建物以外の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「自動車計測システム機器」セグメントで115百万円、「環境・プロセスシステム機器」セグメントで50百万円、「医用システム機器」セグメントで26百万円、「半導体システム機器」セグメントで132百万円、「科学システム機器」セグメントで35百万円、それぞれ増加しております。

(有形固定資産の残存価額に対する見積りの変更)

当社及び国内連結子会社3社は、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機として、有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき備忘価額（1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「自動車計測システム機器」セグメントで61百万円、「環境・プロセスシステム機器」セグメントで27百万円、「医用システム機器」セグメントで14百万円、「半導体システム機器」セグメントで82百万円、「科学システム機器」セグメントで19百万円、それぞれ減少しております。

4. 補足情報

平成24年12月期 第3四半期 決算概要

連 結

1. 連結決算業績

単位：百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率	通期	通期	金額	率
売上	82,844	87,646	△4,801	△5.5%	117,000	123,456	△6,456	△5.2%				
営業利益	7,056	9,706	△2,649	△27.3%	11,000	14,906	△3,906	△26.2%				
営業利益率	8.5%	11.1%	△2.6P		9.4%	12.1%	△2.7P					
経常利益	6,676	9,410	△2,733	△29.0%	10,500	14,611	△4,111	△28.1%				
経常利益率	8.1%	10.7%	△2.6P		9.0%	11.8%	△2.8P					
当期純利益	4,076	5,893	△1,817	△30.8%	6,600	8,664	△2,064	△23.8%				
当期純利益率	4.9%	6.7%	△1.8P		5.6%	7.0%	△1.4P					
US\$	79.39	80.59	△1.20		80.00	79.80	+0.20					
Euro	101.72	113.39	△11.67		100.00	111.13	△11.13					

2. 連結セグメント別業績

単位：百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率	通期	通期	金額	率
売上												
自動車	27,919	24,246	+3,673	+15.1%	43,000	38,678	+4,321	+11.2%				
環境・プロセス	10,113	10,075	+38	+0.4%	13,500	14,558	△1,058	△7.3%				
医用	16,492	17,741	△1,248	△7.0%	22,500	23,485	△985	△4.2%				
半導体	14,030	20,045	△6,014	△30.0%	18,000	24,694	△6,694	△27.1%				
科学	14,287	15,538	△1,250	△8.0%	20,000	22,040	△2,040	△9.3%				
Total	82,844	87,646	△4,801	△5.5%	117,000	123,456	△6,456	△5.2%				
営業利益												
自動車	1,465	937	+528	+56.4%	3,200	2,834	+365	+12.9%				
環境・プロセス	1,244	1,473	△228	△15.5%	1,500	2,532	△1,032	△40.8%				
医用	1,976	2,499	△523	△20.9%	3,000	3,166	△166	△5.3%				
半導体	2,080	4,227	△2,147	△50.8%	2,500	4,939	△2,439	△49.4%				
科学	289	568	△278	△49.0%	800	1,433	△633	△44.2%				
Total	7,056	9,706	△2,649	△27.3%	11,000	14,906	△3,906	△26.2%				

3. 連結[仕向地別]セグメント別売上

単位:百万円

	24/12実績		23/12実績		対前年同期増減		24/12予想		23/12実績		対前期増減	
	3Q(9ヶ月)		3Q(9ヶ月)		金額	率	通期	通期	金額	率	金額	率
自動車	27,919	24,246	+3,673	+15.1%	43,000	38,678	+4,321	+11.2%				
日本	10,851	9,794	+1,057	+10.8%	15,800	14,672	+1,127	+7.7%				
アジア	6,803	4,182	+2,620	+62.7%	11,900	7,379	+4,520	+61.3%				
アメリカ	3,415	2,978	+437	+14.7%	5,300	4,989	+310	+6.2%				
欧州	6,848	7,290	△442	△6.1%	10,000	11,636	△1,636	△14.1%				
環境・プロセス	10,113	10,075	+38	+0.4%	13,500	14,558	△1,058	△7.3%				
日本	7,048	7,151	△102	△1.4%	9,500	10,447	△947	△9.1%				
アジア	1,207	1,170	+37	+3.2%	1,700	1,643	+56	+3.4%				
アメリカ	760	605	+154	+25.5%	800	809	△9	△1.2%				
欧州	1,096	1,148	△51	△4.5%	1,500	1,657	△157	△9.5%				
医用	16,492	17,741	△1,248	△7.0%	22,500	23,485	△985	△4.2%				
日本	3,922	4,082	△159	△3.9%	5,600	5,435	+164	+3.0%				
アジア	2,067	2,055	+12	+0.6%	3,100	2,704	+395	+14.6%				
アメリカ	3,995	4,618	△623	△13.5%	5,200	6,019	△819	△13.6%				
欧州	6,506	6,984	△477	△6.8%	8,600	9,326	△726	△7.8%				
半導体	14,030	20,045	△6,014	△30.0%	18,000	24,694	△6,694	△27.1%				
日本	7,070	8,714	△1,644	△18.9%	9,500	11,244	△1,744	△15.5%				
アジア	4,071	4,644	△573	△12.3%	5,200	5,998	△798	△13.3%				
アメリカ	2,016	3,119	△1,103	△35.4%	2,200	3,656	△1,456	△39.8%				
欧州	872	3,566	△2,694	△75.5%	1,100	3,795	△2,695	△71.0%				
科 学	14,287	15,538	△1,250	△8.0%	20,000	22,040	△2,040	△9.3%				
日本	5,341	5,442	△100	△1.8%	7,000	7,186	△186	△2.6%				
アジア	2,700	3,211	△511	△15.9%	3,800	4,567	△767	△16.8%				
アメリカ	2,746	3,150	△403	△12.8%	4,100	4,493	△393	△8.8%				
欧州	3,499	3,734	△235	△6.3%	5,100	5,791	△691	△11.9%				
合 計	82,844	87,646	△4,801	△5.5%	117,000	123,456	△6,456	△5.2%				
日本	34,236	35,185	△949	△2.7%	47,400	48,986	△1,586	△3.2%				
アジア	16,850	15,263	+1,586	+10.4%	25,700	22,293	+3,406	+15.3%				
アメリカ	12,934	14,473	△1,538	△10.6%	17,600	19,969	△2,369	△11.9%				
欧州	18,823	22,723	△3,900	△17.2%	26,300	32,207	△5,907	△18.3%				

4. 資本的支出・減価償却費・研究開発費

単位:百万円

	24/12		23/12	
	3Q実績(9ヶ月)	通期予想	3Q実績(9ヶ月)	通期実績
資本的支出※	5,149	7,700	2,946	4,670
減価償却費	2,764	4,000	3,077	4,146
研究開発費	7,486	10,000	7,363	10,060

※ 有形固定資産及び無形固定資産への投資額であります。

5. 連結決算業績(四半期比較)

単位: 百万円

	24/12				23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	29,522	27,432	25,889	34,155	29,308	30,723	27,614	35,810
営業利益	3,627	1,680	1,748	3,943	3,108	3,689	2,880	5,200
営業利益率	12.3%	6.1%	6.8%	11.5%	10.6%	12.0%	10.4%	14.5%
経常利益	3,555	1,523	1,597	3,823	3,077	3,696	2,604	5,201
経常利益率	12.0%	5.6%	6.2%	11.2%	10.5%	12.0%	9.4%	14.5%
四半期純利益	2,141	908	1,027	2,523	2,157	2,120	1,616	2,771
四半期純利益率	7.3%	3.3%	4.0%	7.4%	7.4%	6.9%	5.9%	7.7%
US\$	79.35	80.19	78.63	81.83	82.31	81.71	77.75	77.43
Euro	104.14	102.82	98.20	94.84	112.66	117.42	110.09	104.35

6. 連結セグメント別業績(四半期比較)

単位: 百万円

	24/12				23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上								
自動車	9,185	9,390	9,343	15,080	8,268	8,844	7,133	14,431
環境・プロセス	4,106	3,002	3,005	3,386	2,917	3,346	3,810	4,483
医用	5,543	5,497	5,451	6,007	5,774	6,220	5,746	5,744
半導体	5,508	4,907	3,614	3,969	6,971	7,485	5,588	4,649
科学	5,178	4,635	4,474	5,712	5,376	4,826	5,336	6,501
Total	29,522	27,432	25,889	34,155	29,308	30,723	27,614	35,810

	24/12				23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益								
自動車	562	171	731	1,734	357	450	120	1,897
環境・プロセス	893	128	223	255	246	409	813	1,059
医用	746	652	577	1,023	795	1,024	675	667
半導体	1,210	724	145	419	1,520	1,767	932	711
科学	215	2	71	510	188	37	338	865
Total	3,627	1,680	1,748	3,943	3,108	3,689	2,880	5,200

7. 連結セグメント別受注・受注残状況(四半期比較)

単位: 百万円

	24/12				23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
受注								
自動車	12,348	10,148	12,446	-	11,391	10,822	8,366	13,083
環境・プロセス	3,933	3,211	3,074	-	2,891	4,088	3,731	4,085
医用	6,031	5,299	5,402	-	6,449	6,150	5,522	5,641
半導体	5,372	4,532	4,077	-	7,502	7,377	4,466	4,965
科学	5,502	4,526	4,526	-	6,195	4,733	5,082	5,734
Total	33,188	27,718	29,527	-	34,430	33,172	27,169	33,509

	24/12				23/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
受注残								
自動車	27,755	28,512	31,616	-	22,728	24,707	25,940	24,591
環境・プロセス	2,525	2,734	2,804	-	2,433	3,174	3,095	2,697
医用	2,562	2,364	2,314	-	2,471	2,402	2,178	2,075
半導体	1,597	1,223	1,685	-	2,648	2,539	1,418	1,733
科学	5,603	5,495	5,547	-	6,393	6,300	6,047	5,279
Total	40,043	40,330	43,968	-	36,675	39,123	38,679	36,377

IR窓口

株式会社堀場製作所 経営戦略本部 上杉 英太

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 TEL 075-325-5003 (直通) E-mail eita.uesugi@horiba.com